

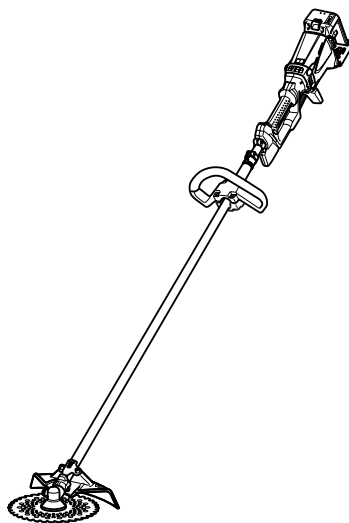
Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

230mm 充電式草刈機

モデル **MBC232D**



このたびは **230mm 充電式草刈機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次




・ 主要機能	-----	3
・ 安全上のご注意	-----	5
・ 充電式草刈機安全上のご注意	-----	9
・ 各部の名称および標準付属品	-----	15
・ 別販売品のご紹介	-----	17
・ ご使用前の準備	-----	18
・ ご使用前の準備	-----	18
・ ループハンドルの取り付け方	-----	18
・ 刃物(刈刃)と飛散防護カバーの組み合わせ	-----	19
・ 飛散防護カバーの取り付け方	-----	19
・ チップソー(刈刃)の取り付け方	-----	19
・ 肩掛けバンドの取り付け方	-----	21
・ 肩掛けバンドのはずし方	-----	21
・ 使い方	-----	22
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	-----	22
・ バッテリー保護機能	-----	22
・ バッテリーについて	-----	22
・ バッテリーの容量表示方法	-----	23
・ バッテリーの充電方法	-----	24
・ 充電表示ライトについて	-----	25
・ バッテリーを長持ちさせるには	-----	27
・ バッテリーの回収について	-----	27
・ 充電器の点検・修理・保管について	-----	27
・ スイッチの操作	-----	28
・ 正逆転切り替えレバーの操作	-----	28
・ 速度切替レバーの操作	-----	29
・ お知らせランプ	-----	29
・ バランス調整方法	-----	29
・ 作業方法	-----	30
・ 保守・点検について	-----	31
・ ギヤケースへのグリスの補給	-----	31
・ 本機のお手入れ	-----	31
・ 故障かな?と思ったら	-----	32
・ マキタ充電式草刈機保証書	-----	36

主要機能

主要機能		モデル
		MBC232D
電動機		DC ブラシレスモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー バッテリー BL3622A (容量 2.2Ah)
電圧		直流 36V
ハンドル形式		ループハンドル
刈り込み幅		230mm
刈り込み方式		チップソー (刈刃)
回転数	高速	0 ~ 7,300 min ⁻¹ (回転 / 分)
	低速	0 ~ 5,300 min ⁻¹ (回転 / 分)
本機寸法		長さ 1,880mm × 幅 230mm × 高さ 192mm (チップソー (刈刃)、飛散防護カバー含む)
質量		4.9kg (バッテリー含む) (チップソー (刈刃)、飛散防護カバー、 肩掛けバンド除く)
充電器		DC36WA
入力電圧		単相交流 100V
入力周波数		50-60Hz
入力容量		230VA
出力電圧		直流 36V
出力電流		直流 2.3A

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA002-35

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. マキタ専用の指定のバッテリー以外を使わないでください。
 - ・ 改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。工本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
2. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
5. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
6. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
7. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が10℃未満、または周囲温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
8. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

9. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 充電工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
10. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
11. 防音用保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
12. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
13. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物（刈刃）、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
14. 不意な始動は避けてください。
 - ・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ バッテリーをさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
15. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
16. バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
17. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
18. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
19. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
20. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
21. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
22. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

⚠ 注意

- 1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2. 子供を近付けないでください。**
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近付けないでください。
- 3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
 - ・ バッテリーを、周囲温度が5 0℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 4. 無理して使用しないでください。**
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 5. 作業に合った充電工具を使用してください。**
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 6. きちんとした服装で作業してください。**
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物（刈刃）類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
 - ・ コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
 - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠ 注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
 10. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしであることを確認してください。
 11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
 12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
 13. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
 14. 充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。
 - ・ 本体、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 15. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式草刈機安全上のご注意

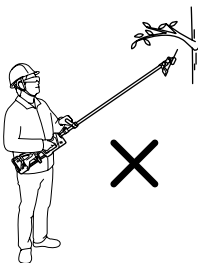
先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式草刈機として、さらに次の注意事項を守ってください。

全般

JPB196-4

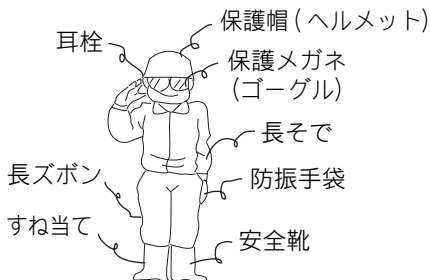
⚠ 警告

1. 本機を雨の中で使ったり、水のかかる場所での使用や、雨ざらしにしないでください。また、ぬれた場所に置かないでください。感電や焼損・発火による火災の恐れや故障やけがの原因になります。
2. 本機は雑草の草刈りを目的とした機械です。この目的以外には、使用しないでください。
 - ・ 目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。又、機械の寿命を縮めます。
3. 枝打ち等の作業はしないでください。
 - ・ けがや事故の原因になりますので腰より高い位置での草刈作業はしないでください。



4. 袖や裾の締まりのよい服装をしてください。また、手ぬぐいやタオルを首から下げて作業しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれけがの原因になります。
5. 保護帽（ヘルメット）、耳栓、保護メガネ（ゴーグル）、防振手袋、滑り止めのついた安全靴、すね当てなどの保護具を着用してください。
 - ・ 保護帽（ヘルメット）
転倒や頭上の木の枝、落下物などから頭を保護するため、保護帽を着用してください。

- ・ 耳栓
騒音から聴覚を保護するため、耳栓などの保護具を着用してください。
- ・ 保護メガネ（ゴーグル）
刈刃から飛んでくる物から目を保護するため、保護メガネを着用してください。また、粉じんの多い作業の時は防じんマスクを併用してください。
- ・ 防振手袋
手の保護のため、防振手袋を着用してください。
- ・ 安全靴
刈刃部から飛んでくる物から足を保護するため、底に滑り止めのついた安全靴（先しん入り）を着用してください。
- ・ すね当て
刈刃から飛んでくる物から足を保護するため、すね当てを着用してください。



6. 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むよう指導してください。また、子供には本機を貸さないでください。
 - ・ 機械の取り扱いの知識が不十分な場合、事故の原因になります。
7. 誤った部品を取り付けたり改造をしないでください。
 - ・ 思わぬ事故の原因になります。
 - ・ 刈刃は当社指定のものをご使用ください。

作業を始める前に

⚠ 警告

1. 次のときは機械を使用しないでください。事故の原因になります。
 - ・ 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - ・ 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
 - ・ 夜間の使用や悪天候などで視界の悪いとき。
 - ・ 妊婦による作業。



2. 引火、火災の恐れがあります。
 - ・ 機械を使用するとき、手入れをするときなどはタバコを吸ったり、火気をちかづけないでください。

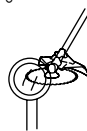


3. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ガソリン、ガス、塗料、接着剤など引火性のある物の近くでは、使用しないでください。
 - ・ バッテリからの異臭や液漏れがないか確認してください。
4. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

5. 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
 - ・ 転倒してけがの原因になります。



6. 身体を冷やさなような服装で作業してください。
7. 刈刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃点検時には手袋を着用してください。
 - ・ 異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。



8. 刈刃は刃物（刈刃）軸最高回転数よりも高い許容回転数のものを使用してください。
 - ・ 刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。



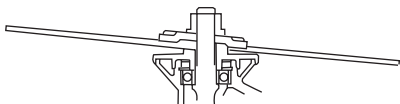
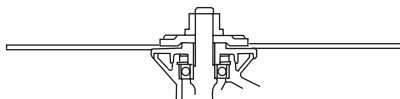
9. 作業を始める前に刃物カバーを取ってから使用してください。

⚠ 注意

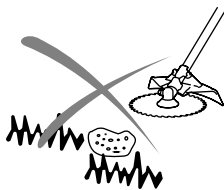
1. 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認してください。次のときは機械を使用しないでください。事故の原因になります。
 - ・ 不完全な機械を使用するとけがの原因になります。
2. 刃物（刈刃）類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。また刈刃の取り付けの際は、必ず手袋をしてください。
 - ・ 確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。



3. 刈刃を取り付ける場合は、刃受金具の凸部と刈刃の取り付け穴を確実にはめてください。
 - ・ 刈刃が正しく取り付けられていないと異常振動し、けがの原因になります。

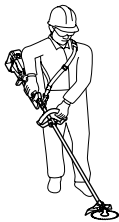


4. 調節キーやレンチなどは必ず取りはずしてください。
 - ・ 付けたままでは使用時に飛び出して、けがの原因になる恐れがあります。
5. 本機を始動させる前に、半径 15m 以内に他の人や動物がいないこと、刈刃が地面や樹木その他の障害物に触れていないことを確認してください。
 - ・ 刈刃が障害物に触れていると事故の原因になります。
6. 刈払いする場所にある小石、針金、空カン、空ピンなどの障害物は取り除いてから使用してください。
 - ・ 使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、機械の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。

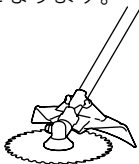


⚠ 警告

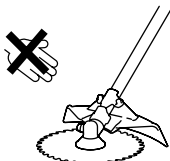
1. 草刈機は両手で確実に保持し、体重が両足にかかるように適当に足を開いて使用してください。その際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。また、付属の肩掛けバンドを必ず着用してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。



2. 飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。
 - ・ 飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けずに使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。



3. 回転している刈刃や回転物に手足や顔、衣服などを不用意に近づけないでください。またスイッチトリガーを戻したあとや電源を切ったあと刈刃はしばらく回りますので注意してください。
 - ・ けがの原因になります。

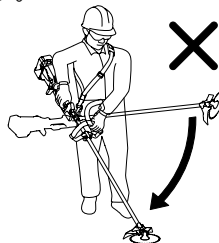


4. 使用中に刈刃が石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べてください。

- ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。



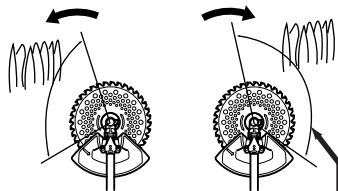
6. 刈刃で打つ、たたく等の方法で刈払作業をしないでください。
 - ・ 跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。



7. 使用中、キックバックが起こる可能性があります。キックバック防止の為、刈刃を右から左に操作して刈払い作業をおこなってください。
 - ・ キックバックが起こると、本機が思わぬ方向に動き、けがや事故の原因になります。

正しい操作

危険な操作

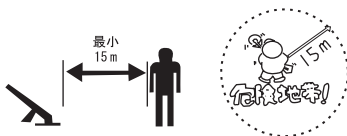


キックバック：

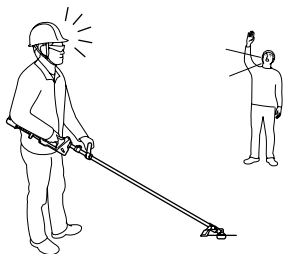
この範囲で刈刃が硬いものに当たると、反動で運転者側（自分の方向）にはね返されます。

⚠ 注意

1. 使用中は半径 15m 以内に他の人や動物などを近づけないでください。また 2 人以上で作業を行うときは、お互いに 15m 以上の間隔を取り、監督者をおいてください。使用中、15m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちに本機を停止し作業を中止して注意をうながしてください。
 - ・ 不用意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。



2. 草刈機を使用している人に近づくときは、使用者から 15m 以上離れた位置で合図し、本機の停止と刈刃の回転の停止を確認してから近づいてください。
 - ・ 不用意に近づくと使用者が気が付かず事故の原因になります。



3. 刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。
 - ・ 使用中に刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因になります。

4. 作業に合った刈刃の回転数で使用してください。
 - ・ 回転数が低すぎますと雑草がからみつくことがあります。
 - ・ 回転数が高すぎますと運転時間が短くなるだけでなく、機械の寿命を縮める原因にもなります。
5. 長時間の作業は、身体に負担がかかります。連続使用時間は 30 分以内とし、一連続作業の後 5 分以上の休止時間を設けてください。また、一日の作業時間は 2 時間以内としてください。

- ・ 身体が疲労すると注意力が欠け、けがや事故の原因になります。
(参考)

国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

1 回の連続作業時間	30 分以内
1 日の作業時間	2 時間以内
1 週の作業日数	5 日以内
1 月の作業時間	40 時間以内

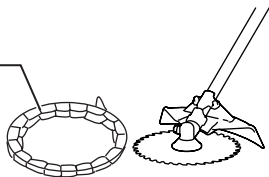
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、刈刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 運搬時や格納時、休憩時は刃物（刈刃）カバーを必ず取り付けてください。

- けがの原因になります。

刃物（刈刃）
カバー



- 車で移動する場合や本機を輸送する場合には、バッテリーを取り外してください。

- 事故や故障の原因になります。

- 使用しないときは、刃物（刈刃）カバーを取り付けてバッテリーを取り外し、お客様の手の届かない場所又は鍵のかかる場所に保管してください。

- けがの原因になります。

- 長期間使用しない場合はバッテリーの劣化防止の為、バッテリーを満充電状態にしてから保管してください。ご使用にならない場合でも半年に一度は充電してください。

- 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場の近くに備え付けてください。救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を入れておいてください。



- 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。注意ラベルは、お買い求めの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

- いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をお勧めします。点検は、お買い求めの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

- 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因になります。

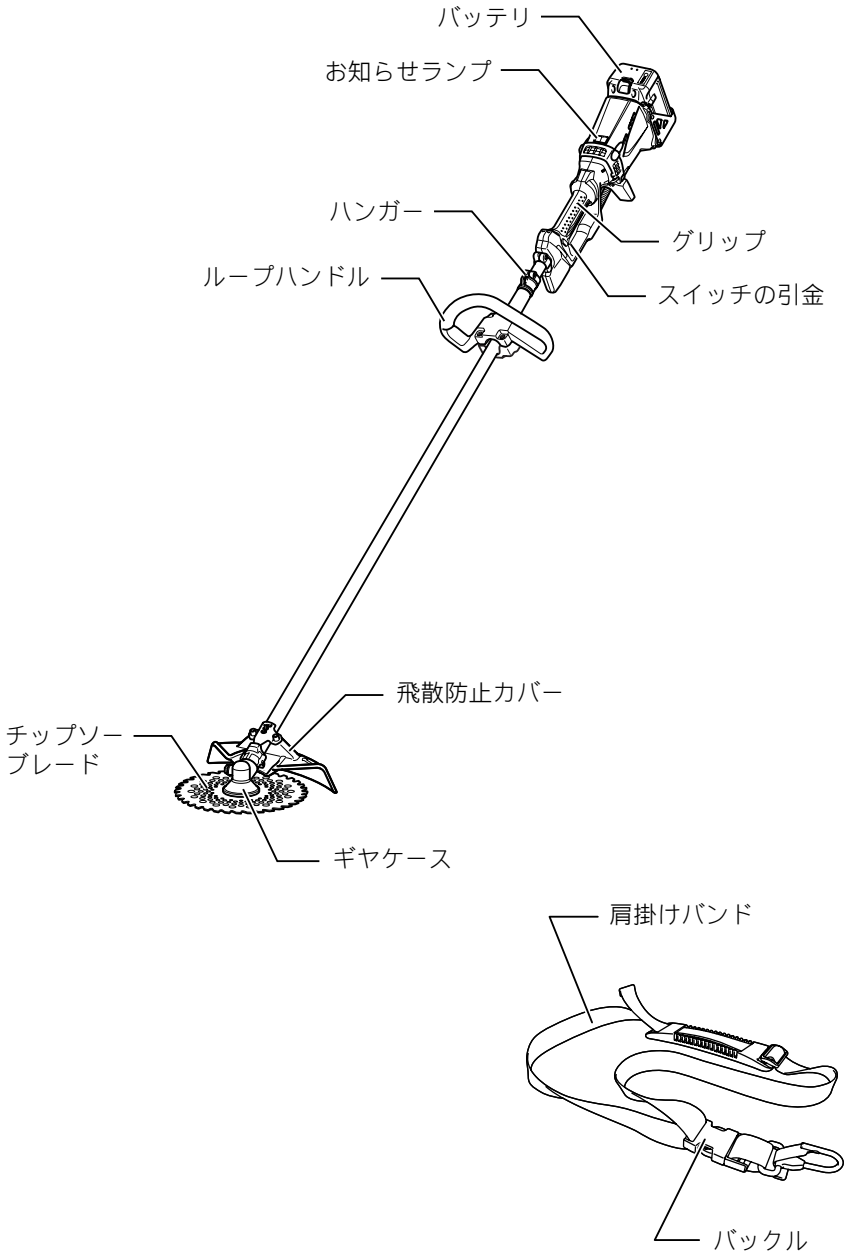
注

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
1.25mm ²	20m
2.0mm ²	30m

各部の名称および標準付属品



各部の名称および標準付属品

製品の組み合わせおよび標準付属品

標準付属品 \ モデル	MBC232DZ	MBC232DWB	MBC232DWBX
バッテリー	×	○ バッテリー BL3622A (2.2Ah)	○ (2 個) バッテリー BL3622A (2.2Ah)
充電器 (充電時間)	×	○ DC36WA (約 60 分)	○ DC36WA (約 60 分)
肩掛けバンド	○	○	○
チップソー (刈刃)	○	○	○
ボックスドライバ	○	○	○
六角棒レンチ	○	○	○
アクセサリバッグ	○	○	○
刃物 (刈刃) カバー	○ (2 個)	○ (2 個)	○ (2 個)
セフティゴーグル	○	○	○
バッテリーカバー	×	○	○ (2 個)

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ プロテクタセット品
部品番号：A-51655
- ・ バッテリー BL3622A
部品番号：A-52261
- ・ バッテリー BL3626
部品番号：A-49965
- ・ 充電器 DC36WA
バッテリー BL3622A 専用充電器です。
- ・ 充電器 DC36RA
バッテリー BL3626 専用充電器です。
- ・ ウルトラオート 4
部品番号：A-13823

注

- ・ ウルトラオート 4 を使用する際は本機に品番 A-51655 のプロテクタを取り付けてご使用ください。

充電器とバッテリーの使用可能な組み合わせ

充電器 \ バッテリー	BL3626	BL3622A
DC36RA	○	×
DC36WA	×	○

ご使用前の準備

ご使用前の準備

⚠ 注意

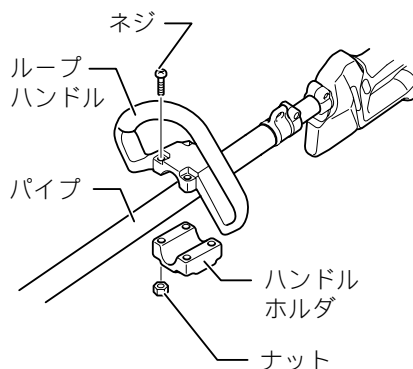
本機の組み立てや付属品の取り付け取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ 本機が作動して、けがの恐れがあります。

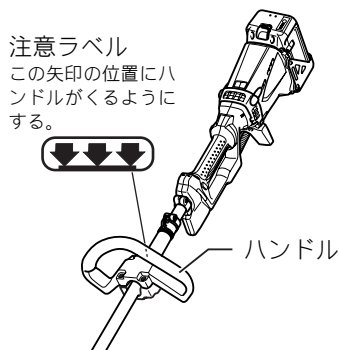
付属品をしっかりと取り付けしてから作業してください。

ループハンドルの取り付け方

- ・ 図のようにループハンドルとハンドルホルダを4本のネジとナットでパイプに固定します。



- ・ ハンドル位置はラベルに合わせてください。



ご使用前の準備

刃物（刈刃）と飛散防護カバーの組み合わせ

⚠ 警告

刃物（刈刃）と飛散防護カバーは正しい組み合わせで使用してください。

- ・ けがの恐れがあります。

飛散防護カバーをはずした状態で使用しないでください。

- ・ 事故やけがの恐れがあります。

外径が 230mm の刃物（刈刃）を使用してください。

外径 230mm を越える刃物（刈刃）を使用しないでください。

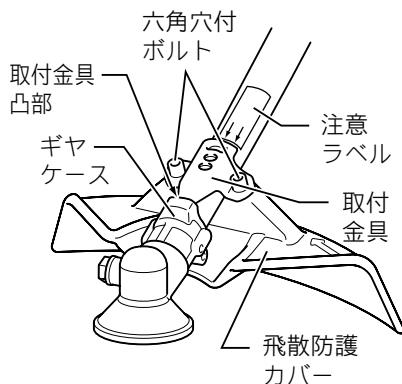
- ・ けがの原因になります。

飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。

- ・ 飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けずに使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。

飛散防護カバーの取り付け方

- ・ 取付金具の凸部を図のようにギヤケースに奥まで差し込んで位置を注意ラベルに合わせてください。
- ・ 取付金具に飛散防護カバーを2本の六角穴付ボルトで取り付け、六角棒レンチでしっかり締め付けてください。（2本とも均等に締め付けてください。）



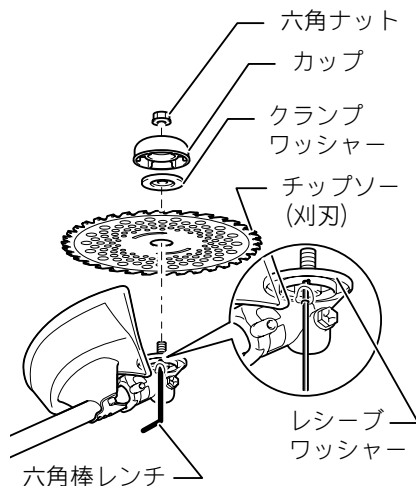
チップソー（刈刃）の取り付け方

⚠ 注意

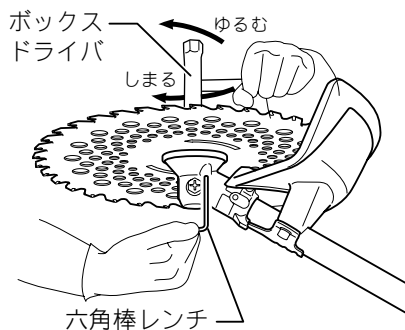
- ・ チップソーの取り付け・取りはずしの際はスイッチを切りバッテリーを抜いてください。
- ・ マキタ純正のチップソー（刈刃）を使用してください。
- ・ チップソー（刈刃）はきれいにしてください。チップソー（刈刃）に石などが当たった場合は使用をやめ、スイッチを切り、チップソー（刈刃）を点検してください。
- ・ 3時間ごとにきれいに掃除または新しいチップソー（刈刃）に交換してください。
- ・ チップソー（刈刃）をつかむときには必ず手袋をしてください。
- ・ 本機を保管または移動させる際は、チップソー（刈刃）に刃物（刈刃）カバーをしてください。
- ・ チップソー（刈刃）を締めているナットは消耗品です。カップ、ワッシャーが消耗した場合には、ナットも交換してください。

ご使用前の準備

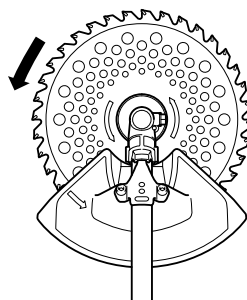
- ・ チップソー (刈刃) を交換しやすいように本機を裏返します。
- ・ チップソー (刈刃) を取りはずすために、カバーとギヤケースの穴に六角棒レンチを挿入します。
- ・ ロックされるまでレシーブワッシャーを回します。
- ・ ボックスドライバで六角ナット、カップ、クランプワッシャーをはずし、六角棒レンチをはずします。



- ・ チップソー (刈刃) の穴にレシーブワッシャーがぴったり合うようにして、チップソー (刈刃) を取り付けます。
- ・ 次にクランプワッシャー、カップの順に取り付けます。
- ・ 六角ナットをしっかり締め付けて、チップソー (刈刃) を確実に固定されていることを確認してください。締付トルクは $13 \sim 23\text{N} \cdot \text{m}$ です。



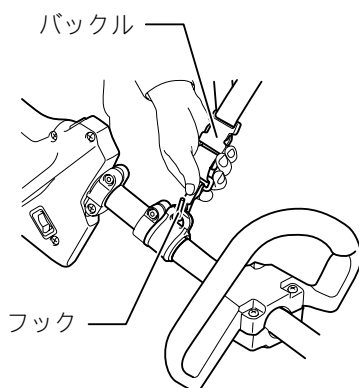
- ・ 最後にチップソー (刈刃) が左回転することを確認してください。



ご使用前の準備

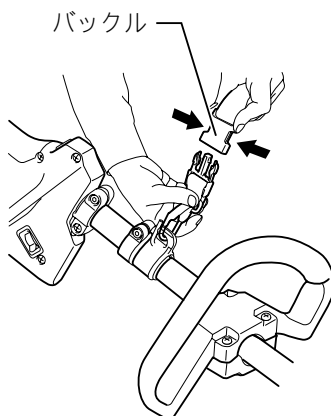
肩掛けバンドの取り付け方

- ・ 肩掛けバンドを左肩へたすき掛けし、フックを本機に引っ掛けます。
- ・ フックおよびバックルを引っ張って抜けないことを確認してください。



肩掛けバンドのはずし方

- ・ バックルのレバーを強く押すとバックルがはずれます。



使い方

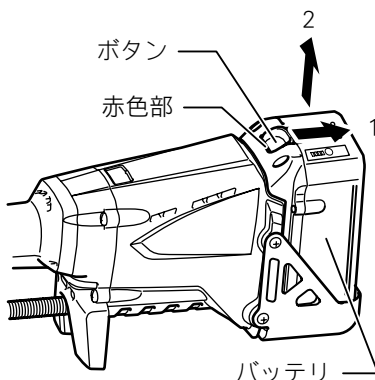
バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 注意

本機、バッテリーを確実に保持して、バッテリー交換をしてください。

- ・ 確実に保持しないと落として本機およびバッテリーが破損したり、けがをするおそれがあります。

- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



バッテリー保護機能

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。このときはいったんスイッチをはなし、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますかまたは、充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

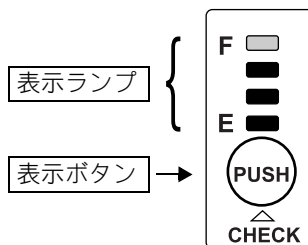
バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。(スイッチを操作すると本機は動くことがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

バッテリーの容量表示方法

- ・ バッテリーの表示ボタンを押すと、表示ランプが約3秒間点灯してバッテリーの残容量を表示します。



例) 45%～70%表示時

注

- ・ 最下位の表示ランプ (E 表示の横) のみ点滅する場合、もしくは全ての表示ランプが点灯しない場合はバッテリーの残容量が少なくなっているため、工具が作動しません。
この場合はバッテリーを充電するか、充電済のバッテリーに交換してください。
- ・ 充電完了しても表示ランプが2個以上点灯しない場合、バッテリーの寿命です。
- ・ 表示ランプの上位2つと下位2つが交互点灯する場合はバッテリーが故障している恐れがあります。お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 工具使用中、使用直後はやや少なめに表示されます。

表示の見かた

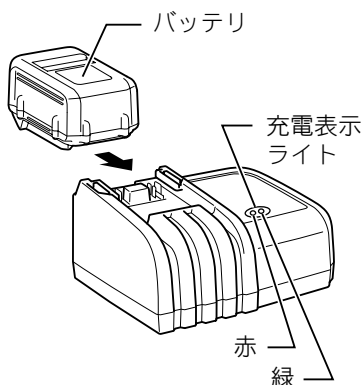
表示ランプ ■: 点灯 □: 消灯 ■: 点滅	容量
E ■ ■ ■ ■ F	70%～100%
■ ■ ■ □	45%～70%
■ ■ □ □	20%～45%
■ □ □ □	0%～20%
■ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↑ ↓ □ □ ■ ■	故障の可能性あります。

※ 容量表示はバッテリーの使用条件、温度環境により正確に表示されない場合があります。

使い方

バッテリーの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
3. バッテリーを挿入しますと、充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



使い方

充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
 	充電前「緑 1個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
 	待機中「赤 1個」点滅 バッテリーが高温です。適度な温度になると自動的に充電開始します。
 	充電中「赤 1個」点灯 バッテリー容量約0~80%を示します。
 	充電中「赤 1個・緑 1個」点灯 バッテリー容量約80~100%を示します。
 	充電完了「緑 1個」点灯
 	充電不可「赤・緑 1個」交互点滅 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。

使い方

注

- ・ DC36WA はマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されずと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、バッテリーの温度が下がると充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
 - ×充電器のプラグを 100V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - ×バッテリーを挿入しても表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、3 時間以上たっても充電が完了しない。
(表示ライトが「緑」に変わらない。)
- ・ バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電して保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
- ・ 修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方

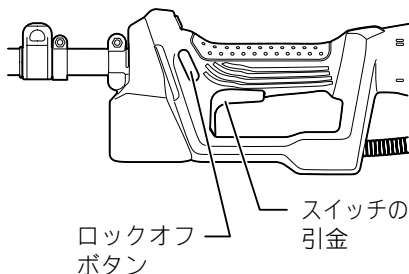
スイッチの操作

⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、離すと切れます。
- ・ スイッチの引金を離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



正逆転切り替えレバーの操作

⚠ 警告

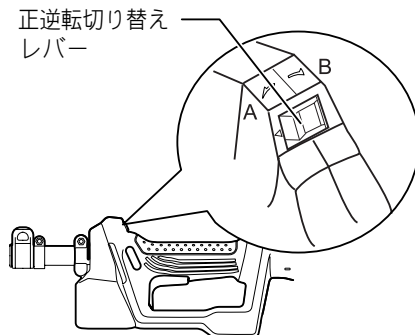
正逆転切り替えレバーを操作しても刃物（刈刃）に絡まった雑草などが取り除けない場合は、スイッチを切り、バッテリーをはずしてから絡まった雑草を取り除いてください。

⚠ 注意

作業前には必ず刃物（刈刃）の回転方向を確認してください。

正逆転切り替えレバーの操作は本機が完全に停止した後に行ってください。

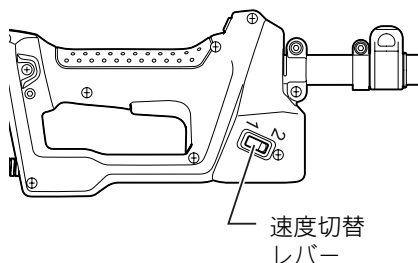
- ・ 本機はチップソー（刈刃）に絡まった雑草などを取り除くために正逆転切り替え機能が付いています。
- ・ 正逆転切り替えレバーをA側に押すと左回転（正転）します。B側に押すと右回転（逆転）し、数秒後に停止します。



使い方

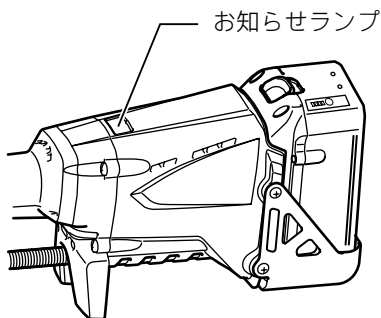
速度切替レバーの操作



- ・ 本機は刃物（刈刃）の回転数を低速（0～5,300 min⁻¹（回転/分））と高速（0～7,300 min⁻¹（回転/分））の2段階に切り替えることができます。
- ・ 回転数の切り替えは速度切替レバーを1側にスライドさせると低速、2側にスライドさせると高速になります。



お知らせランプ

本機にはバッテリーの容量が少なくなったり、外部から過負荷が加わった場合に自動停止する保護機能が付いています。2種類のランプで本機の状態をお知らせします。（表参照）



		状態	対応
—	点滅	バッテリー容量少	満充電のバッテリーに交換してください。
—	点灯	バッテリー残容量がなくなり自動停止	満充電のバッテリーに交換してください。
点滅	—	過負荷がかかりモータ停止	スイッチの引金を離し、過負荷の原因を取り除いてください。雑草などが刃物（刈刃）に絡まっていた場合はバッテリーをはずしてから行ってください。
点灯	—	過負荷による温度上昇	使用を停止し、本機を冷ましてください。
点滅	点滅	電気部品の故障	お買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

バランス調整方法

- ・ 肩掛けバンドのストラップの長さ調整と、吊り下げ位置の変更により、バランス調整してください。

作業方法

⚠ 警告

刈刃に雑草などがからみついたときは、必ずスイッチを切り、刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。

・ 刈刃が回ったままではけがの原因になります。

刈刃で打つ、たたく等の方法で刈払作業をしないでください。

・ 跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。

雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。またハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。

・ 転倒してけがの原因になります。

⚠ 注意

草刈りする場所にある小石、針金、空カン、空ビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。

・ 使用中、刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本機の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。

・ 本機を始動させ、肩掛バンドを着用して身体の右側に吊ってください。

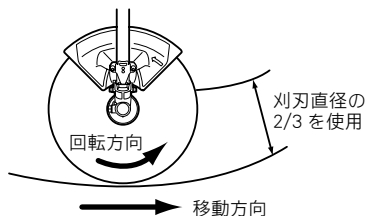
・ 両手でハンドルを保持し、両足に平均に体重がかかるように適当に開いてください。

・ 刈刃を地面から浮かし、刈払作業に合った適当な回転にします。刈刃の回転が低すぎますと、雑草が刈刃にからみつくことがありますので注意してください。

・ 刈払機は、身体のまわりを右から左へ回すようにしながら前進し、雑草を刈ってください。このとき刈刃を左側へ少し傾けますと、刈った雑草が左側に寄り能率的に作業が行えます。

・ 刈り残しをなくすために、刈刃の先端から2/3の範囲で刈ってください。

・ 雑草が高く繁っているときは、まず雑草を高く刈って障害物がよく見えるようにしてからもう一度刈り取ってください。



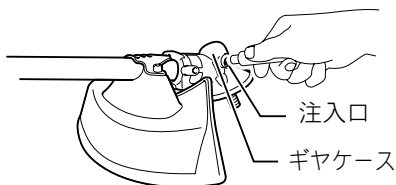
⚠ 警告

保守・点検を行う際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

ギヤケースへのグリスの補給

- ・ ギヤケースの注入口よりグリスを30時間ごとに補給してください。



本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保守・点検について

故障かな？と思ったら

- 修理を依頼される前に、まずご自身で点検を行い、その上でなお異常があるときは、取扱説明書の記載内容以外はむやみに分解しないで、お買い上げの販売店または、お近くの当社営業所にお申し付けください。

不具合の状態	原因	対応
本機が動作しない	バッテリーが装着されていない	バッテリーを装着してください。
	バッテリー異常	充電してください。充電できない場合はバッテリーを交換してください。
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください。
本機がすぐ止まる	回転方向が逆	正逆転切り替えレバーで回転方向を逆にしてください。
	バッテリーの残容量が少ない	充電してください。充電できない場合はバッテリーを交換してください。
	温度異常	本機をしばらく停止させてください。
本機の回転が上がらない	バッテリーが正常に装着されていない	バッテリーを正常に装着してください。
	バッテリー異常	充電してください。充電できない場合はバッテリーを交換してください。
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください。
刈刃が回転しない ↓ すぐに本機を停止する	刈刃締め付けナットがゆるんでいる	ナットをしっかりと締め付けてください。
	刈刃、カバーに小枝等が引っかかっている	異物を取り除いてください。
	刈刃の曲がり	刈刃を交換してください。
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください。
本機が異常に振動する	刈刃の曲がり、割れ、磨耗している	刈刃を交換してください。
	刈刃締め付けナットがゆるんでいる	ナットを正しく締め付けてください。
	刈刃が正しく締め付けられていない	
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください。
刈刃や本機が止まらない ↓ すぐにバッテリーをはずしてください	電気系の異常	バッテリーをはずし、点検整備をお申し付けください。

882651-9

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)